

ご参考資料

UNISYS

日本ユニシスグループ 事業概況資料

日本ユニシス株式会社

2013年10月末現在

日本ユニシスグループ

マーケティング & ビジネス開発 & コンサルティング

- **日本ユニシス**
上流調査、コンサルティング、および広範囲なITサービスをコーディネート、提案
- **日本ユニシス・エクセリウシヨンス**
3次元CAD/CAMシステム、住宅CADシステム、ビジネスソリューションの開発・サービスを提供
- **ケンブリッジ・テクノロジー・パートナーズ**
企業変革の機微察知からIT導入、改革の定着化まで広範囲なファシリテーション型コンサルティングを提供
- **エイファス**
金融機関の現場を知るプロフェッショナルによる、日本の金融業界に適したソリューションを提供

ネットワーク & サポートサービス

- **ユニアデックス**
ネットワーク基礎構築・運用・保守、設備設計・工事など、幅広いICTサービスを、ベンダーを問わず高い顧客満足度で提供
- **エス・アンド・アイ**
高度化戦略を根拠にコンサルティングから設計、構築、運用、保守に至るICT基盤ソリューションを提供
- **ネットマークス**
ユニファイド・コミュニケーション、情報セキュリティ、監視サービスを中心とした高度なネットワーク活用の提案と構築

システムサービス

- **USOLホールディングス**
USOL北海道
USOL東北
USOL東京
USOL中部
USOL関西
USOL中国
USOL九州
USOLベトナム
先進ITとお客様の企業戦略を結びつけ、高い技術と戦略的視座で、お客様に最適なソリューションを提供
- **国際システム**
お客様向けにおいて、最新IT技術とノウハウを活かして各地に密着したサービスを提供
- **G&Uシステムサービス**
大規模のITフルアウトソーシングと、流通/製造分野のソリューション開発および適用のビジネスを展開
- **ユニエイド**
流通小売業向けシステム、クレジットシステムの開発・運用・保守、および流通小売業へのソリューション適用
- **北京優益天垂信息技术有限公司**
人工知能や最先端のアルゴリズム（計算方式）を活用した輸送最適化システムや供給システムを製造・流通企業に提供

アウトソーシング

- **エイタス**
総合アウトソーシング・サービスを24時間・365日、高品質・高技術による高信頼性サービスで提供
- **トレードビジョン**
商品先物取引を中心に、基幹業務のアウトソーシングを展開

グループサービス

- **日本ユニシス・ビジネス**
グループ全体の共通業務および社員へのサービスを提供（購買・物流・総務・福利厚生・保険・旅行等）
- **日本ユニシス・アカウンティング**
グループ全体の経理専門企業として、高度なグループ経営、ディスクロージャーの実現を目指す
- **NULシステムサービス・コーポレーション**
米国等海外における先進技術、ビジネスのリーチ、人材の発掘、米国ユニシスに対するソフトウェアの販路



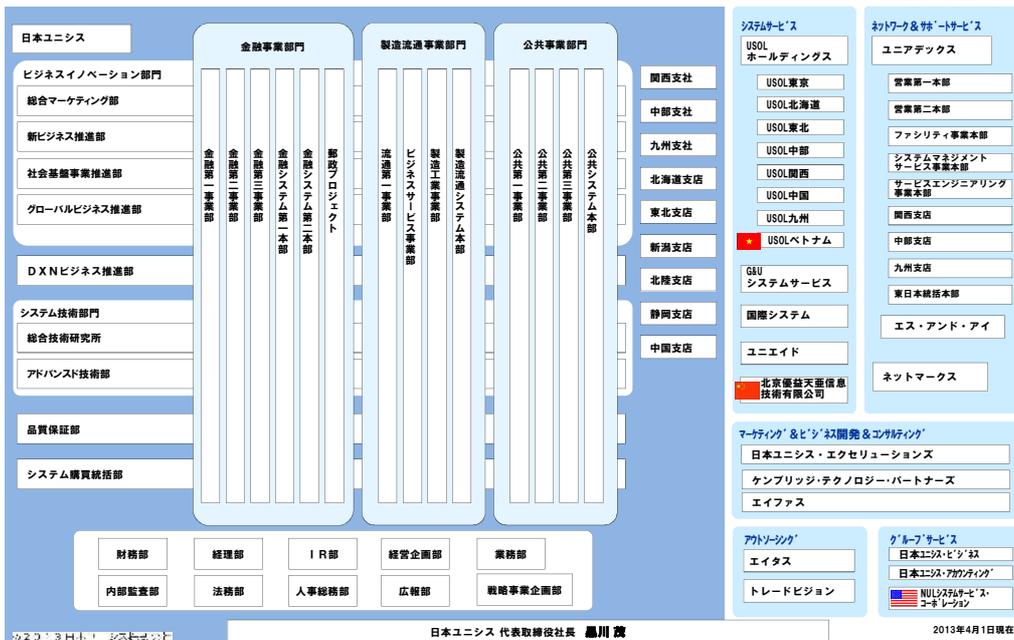
2013年4月1日現在

©2013日本ユニシスグループ

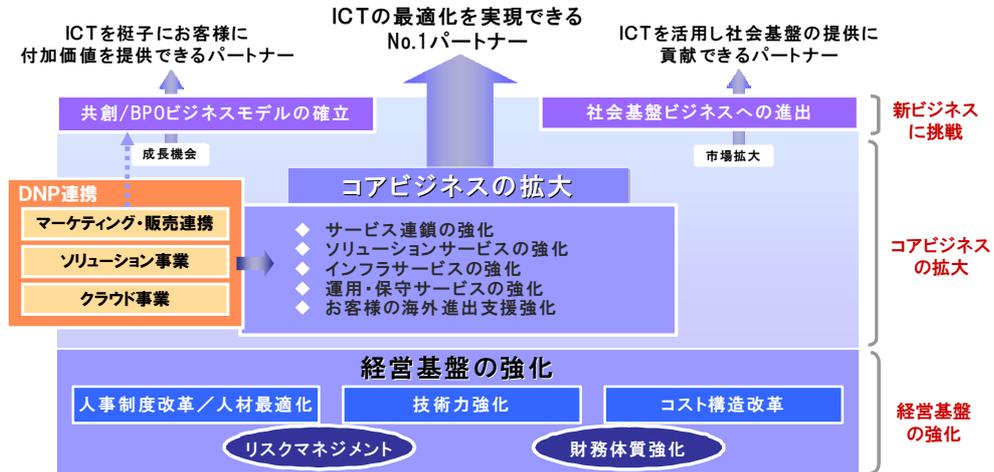
2013年度 日本ユニシスグループ体制図

お客様

UNISYS



3年でコアビジネス※の拡大による収益基盤安定化を行い、
新たな機会からビジネス拡大を目指す



※システム&ネットワークインテグレーション、運用・保守サービスなどの既存事業領域

主要戦略

「繰り返し声をかけたい」パートナーであるために
お客様の期待を超えるサービスを提供します

	重点戦略	戦略概要
コアビジネスの拡大	サービス連鎖の強化	・ICTライフサイクル全体にわたるサービスの提供
	ソリューションサービスの強化	・カスタマイズを最小限にした導入型ソリューションサービスへの転換
	インフラサービスの強化	・仮想化、自動化ソリューションビジネスの加速 ・マルチベンダークラウド、ハイブリッド型システムへの移行提案・再設計ビジネスの加速
	運用・保守(AP~インフラ)サービスの強化	・SI中心の単独サービスから運用・保守(AP、インフラ)を含めた包括サービスへのシフト
	お客様の海外進出支援の強化	・海外デリバリー体制の強化
新ビジネス	共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化	・創造や革新を自ら生み出す人材の育成
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	・実証実験プロジェクトへの戦略参加と商用化、ビジネスモデル化

金融分野 (金融事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

メガバンク・信託	証券・保険	地銀・信金	系統
<ul style="list-style-type: none"> ・資金証券系システム ・信託系ソリューション ・事務集中系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・証券基幹系システム ・FX/商取基幹系システム ・保険金・給付金等の支払いワークフロー領域 ・営業支援系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・勘定系システム ・資金証券系システム ・国際系システム ・経営・顧客情報系システム ・事務集中系システムなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・勘定系システム ・資金証券系システム ・経済系システムなど
共通ソリューション (IFRS※対応システムなど)、BPOビジネス、U-Cloud®、ビッグデータ、共創ビジネス			

※IFRS (International Financial Reporting Standards) : 国際会計基準

主な取り組みと実績

- 2013年 4月** 全国金融機関初、大垣共立銀行のドライブスルー型店舗「ドライブスルーながくて出張所」に設置されたEV急速充電スタンドに、充電インフラシステムサービス「smart oasis®」を提供
- 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みを開始**
 ~ 地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援
 第一弾として百五銀行、鹿児島銀行と業務提携契約を締結
- 5月** 静岡県信用金庫協会と、全国初「信用金庫の手形管理業務の共同化」を実現
- 7月** 地域金融機関の新たなビジネスプラットフォームを創る「Next U's Vision™ プロジェクト」を開始
- 9月** 国内金融機関で初めて、百五銀行と海外進出支援に関する業務提携契約を締結
 西武信用金庫と業務提携契約を締結
 ~ 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みを推進
- 10月** 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みの強化に向け、ICTソリューションのラインアップを拡大

©2013日本IBM株式会社

(敬称略)

事業トピックス

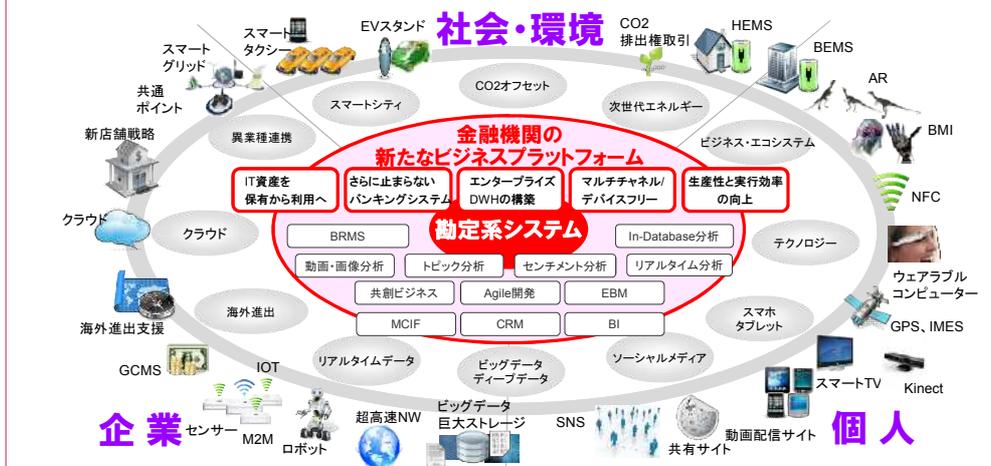
金融分野

社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化

サービス連鎖の強化

地域金融機関の新たなビジネスプラットフォームを創る Next U's Vision プロジェクトを開始

コンセプトは、「社会とつながり、情報を集めて、ビジネスを創造し、成長を支えるビジネスプラットフォームへ」



©2013日本IBM株式会社

3

(敬称略)

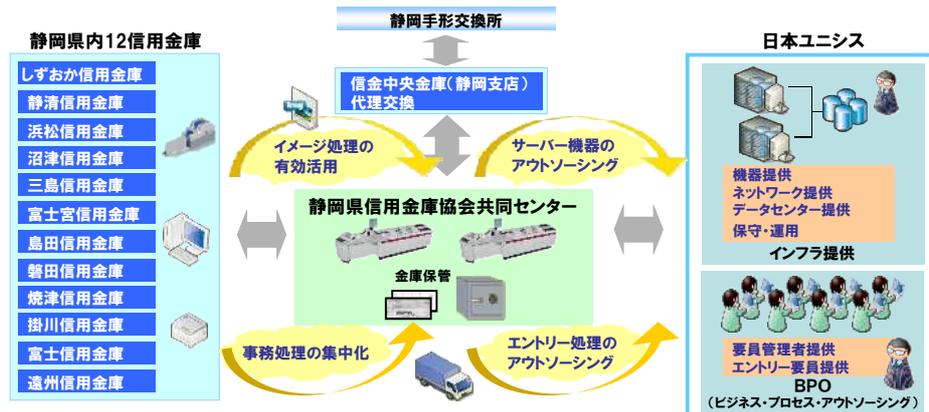
事業トピックス

金融分野

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

静岡県信用金庫協会と、 全国初「信用金庫の手形管理業務の共同化」を実現

静岡県内12信用金庫の手形交換・手形期日管理業務を、BPOサービスとして受託し一元化共同化による事務コスト削減とリスク対策強化を行い、県域内信用金庫の競争力強化を支援



©2019日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

金融分野

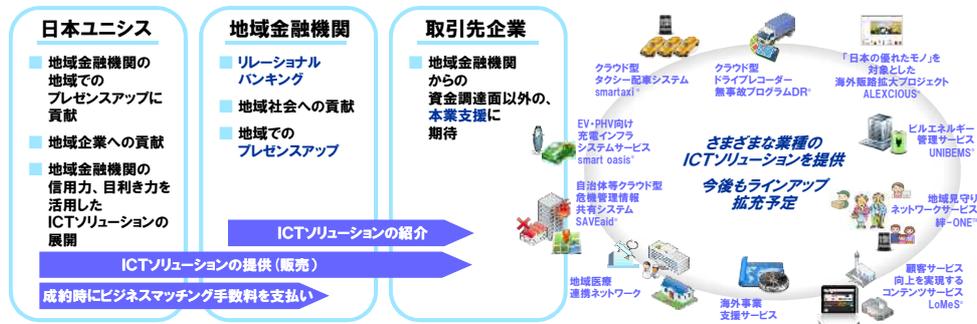
共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

サービス連携の強化

地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して ICTソリューションの販売を促進する新たな取り組みを開始

地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援
百五銀行、鹿児島銀行、西武信用金庫と業務提携契約を締結

- 日本ユニシスがさまざまな産業分野で培ったICTの豊富なノウハウと、地域金融機関の地域における信用力や目利き力を組み合わせることで取引先企業の本業をサポートし、地域経済の活性化を支援する
- お客さまとのパートナーシップにより業界の垣根を越えて新たな価値連鎖を生み出す「共創ビジネス」への取り組み



©2019日本ユニシス株式会社

(敬称略)

製造・流通分野（製造流通事業部門）

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

製造

- ・製造業向けCAD/CAMシステム
- ・住宅業界向け3次元住宅設計システム
- ・購買・調達ソリューション
- ・取引先調査SaaSソリューション
- ・含有化学物質管理システム
- ・ロケーション・メディアサービス

流通

- ・次世代流通基盤、小売業向け次世代流通ソリューション
- ・ダイレクトマーケティング(DM)業界向けソリューション
- ・アパレル統合ソリューション
- ・製菓業界向けソリューション
- ・リース業向けトータル・システム
- ・クラウド型タクシー配車システム

サービス連鎖の強化

主な取り組みと実績

- 2012年 12月** クラウド型タクシー配車システム「smartaxi[®]」が、宮城県内の業界大手、仙台中央タクシーで稼働開始
ファッションコミュニティ「めっちゃかわ！[®]」で、スマートフォンでショップオーナーを体験する新サービス「Me-se[®]」を開始
- 2013年 2月** クラウド型タクシー配車システム「smartaxi[®]」の新サービス、乗客向けスマートフォンアプリ提供開始
- 3月** ANAデジタルコンテンツサービスを国内14空港のラウンジへと拡大
診断ゲーム「めっちゃかわ！検定」をFacebook上で公開
20代30代女性の深層心理を収集し、企業のマーケティングを支援
- 9月** 流通次世代ソリューション「CoreCenter[®] for Retail」がコブきんき連合会奈良県内3店舗で稼働開始。今後県内10店舗まで拡大予定
- 10月** リース業向け次世代基幹システム「Lease Vision[®](CoreCenter for Lease)」を販売開始

©2013日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

製造・流通分野

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

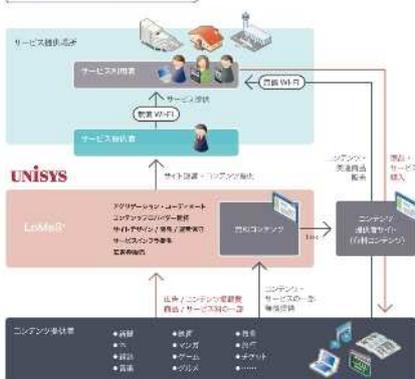
ロケーション・メディアサービス LoMeS[®]

国内14空港のANAラウンジで「ANAデジタルコンテンツサービス」を展開

「LoMeS」(Location-based Media Service)

「特定の場所」で、「限られたセグメントの人たち(特定のお客さま)」に、「特別な情報やサービス」を提供

Business Scheme



「場を提供する企業」と「コンテンツを提供する企業」を利用するお客さまの立場で統合し、企業の顧客接点の強化や企業ブランド浸透のためのサービスを提供する、新しいサービスモデルです

©2013日本ユニシス株式会社

5

(敬称略)

事業トピックス 製造・流通分野

共創ビジネス/BPOモデル企画力の強化

Android®スマートフォンを利用した クラウド型タクシー配車システム「smartaxi」を提供

タクシー配車の仕組みを 「タブレット」と「クラウドサービス」を利用して実現

～ 乗客の配車リクエストからタクシー車両への配車指示までの完全自動配車をクラウドで実現しました ～

- デジタル無線導入と比較し、初期導入費用を大幅に削減
- クラウドでの提供により、月額課金制で利用可能
- 携帯電話回線を利用するため、不感地帯が少ない

2011年11月
業界最大のKmグループで稼働開始

2012年8月
地方タクシー会社向け機能を追加し、
福島貫切辰巳屋自動車で稼働開始

2012年12月
宮城県内の業界大手、
仙台中央タクシーで稼働開始

2013年3月
乗客向けスマートフォンアプリ提供開始

©2013日本IBM株式会社

(敬称略)

事業トピックス 製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

次世代統一基盤『CoreCenter』

各業界向けの業務別システムをコンポーネント化し、短期間・低コスト・高品質での導入を実現

- 長年にわたる多くの基幹システムの構築・提供で培った知財を投入したコンポーネントを用意
- 各業種向けサービスの相互利用が可能
- SOA※を基本としたコンポーネント構造
- Web技術によりクラウド環境での稼働も可能

↓

時代の変化に素早く対応し、競争優位を実現

※SOA：Service-Oriented Architecture (サービス指向アーキテクチャ)

2012年3月 トーホースタアの新基幹システムを構築
～小売業向け次世代流通ソリューション「CoreCenter for Retail」を適用、低コスト・短期間での導入を実現～

2013年10月 リース業向け次世代基幹システム「Lease Vision (CoreCenter for Lease)」を販売開始
～時代の変化に強い次世代統一基盤「CoreCenter BASE」を採用、短期間・低コスト・高品質での導入を実現
百五リースなど2社で採用が決定～

©2013日本IBM株式会社

6

(敬称略)

事業トピックス 製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

リース業向け次世代基幹システム 『Lease Vision® (CoreCenter® for Lease)』販売開始

時代の変化に強い次世代統一基盤「CoreCenter BASE」を採用。短期間・低コスト・高品質での導入を実現

**25%以上のシェアを持つ
リース業トータルシステム「LeaseCreation®」
の次期システム**

- 標準機能の充実
多くのリースシステム導入実績をベースに、機能を充実
- 導入型ソリューションによる、個別カスタマイズの低減
次世代統一基盤「CoreCenter BASE」を採用
機能をコンポーネント化することで必要部分のみ修正可能
- 情報系データベースを標準装備
タイムリーな情報検索が可能になり戦略的な情報活用を実現

百五リース株式会社など2社で採用が決定

©2013日本リース株式会社

(敬称略)

事業トピックス 製造・流通分野

ソリューションサービスの強化

ワークスアプリケーションズと 人事・会計システム分野で協業

ERPパッケージ「COMPANY」シリーズの拡販、
U-Cloud IaaS (ICTホスティングサービス)での提供開始

- 大手ユーザーに対し「COMPANY」シリーズを販売
「COMPANY」シリーズの販売に関し、ワークスと販売店代理店契約を締結。全業種の手続きユーザーに対し、人事・会計業務領域における「COMPANY」シリーズ販売を開始
- ワークスユーザーに対し「U-Cloud for COMPANY」を販売
ワークスは、「U-Cloud IaaS (ICTホスティングサービス)」の販売に関して、日本ユニシスと協業を開始。ワークスの全業種のユーザーに対し、「COMPANY」シリーズとクラウド基盤を組み合わせた「U-Cloud for COMPANY」として提供

2012年3月
富国生命の人事・給与システムをクラウドで刷新
～ERPパッケージ「COMPANY」とクラウド基盤を組み合わせた「U-Cloud for COMPANY」を採用～

2013年1月
社会医療法人 愛仁会の会計システムをクラウドで刷新
～ERPパッケージ「COMPANY」とクラウド基盤「U-Cloud IaaS」を採用し、経理業務の多様化への対応強化とTCO抑制を推進～

©2013日本リース株式会社

ソリューションサービスの強化

購買／調達部門に特化した分析ソリューション 「eBuyerBrains®」を販売開始

企業の購買／調達部門における分析業務や意思決定業務を支援
購買関連情報の一元管理も実現

- 品目の査定購買、カテゴリごとの原価低減のためのネタ探し、品目集約、サプライヤーマネジメントなど、購買／調達部門が行うべき分析業務や意思決定業務を強力に支援
- 担当者間や部門間での情報共有も可能
- 分析業務や意思決定業務の効率化を実現

購買業務ソリューション「eProT™」、
BtoBのWebアンケートツール「eSupplierStation™」とともに、
企業の購買／調達業務をトータルで支援

7

(敬称略)

公共分野(公共事業部門)

主力市場、主な取り組み

主力市場とソリューション

官公庁・自治体

- ・雇用均等行政情報システム・住民情報システム
- ・医薬品等申請・審査システム(住基、税、国保、福祉)
- ・総務省遠隔教育実証実験
- ・工事管理支援システム
- ・入札情報サービス(統合PPI)
- ・総合文書管理システム
- ・上下水道料金システム
- ・バス運行管理システムなど

エネルギー

- ・[電力]営業/管配/経理/工事管理システム
- ・[ガス]営業/供給管理システム
- ・[EV]EV充電インフラ(smart oasis)
- ・[エネルギー管理]UNIBEMSなど

航空・運輸

- ・[エアライン]国内旅客/国際国内貨物システム、国内旅行システム、航空機整備システム
- ・[鉄道]特急座席予約システム、顧客会員管理システムなど

医療・旅行他

- ・[医療・介護]地域医療連携システム、電子カルテ/医事会計システム、介護業務支援システム
- ・[旅行]旅行基幹システム
- ・[テレコム]サービス申込受付/メルマガシステムなど

社会インフラ構築への貢献拡大・サービス効率化実現

主な取り組みと実績

- 2013年4月** 佐渡地域医療連携ネットワーク(さどまわりネット)稼働
中央道のサービスエリアで「電気自動車用急速充電システム」を運用開始
～複数の充電サービスカードとも連携し、EVユーザーの利便性を向上～
- 5月** 業界初のクラウドで提供する「踏切監視サービス」を本格展開 ～ドラレコの技術を元に、安心・安全なサービスを、低価格に提供～
- 7月** ANA、日本ユニシス 国内線旅客システムを世界で初めて「オープンシステム」にて刷新
～大手ネットワークキャリア初のオープンシステム化により、低コストで迅速な顧客サービスの投入が可能に～
- 8月** 薩摩川内市「EV導入実証事業」を飯島(こしきしま)で開始～充電スタンド管理に、充電インフラシステムサービス「smart oasis」を導入～
自治体向け「電気自動車(EV)充電インフラマップ」の無償提供を開始
JTBコーポレートセールス、日本ユニシス 9月1日より、EVドライブの旅に新サービスを開始!
～「チャドモチャージ付きおでかけCard」に、全国1,700箇所のレジャー観光施設の割引サービスが追加になり、カード会員の利便性やサービスがさらに向上します～
- 9月** 日本気象協会、日本ユニシス クラウドと携帯通信環境で提供する、災害監視カメラサービス「サイカメラZEROTM」を販売開始
～カメラの設置可能場所が拡大! 災害をくまなく監視! もれなく監視!～
- 10月** 堀場製作所、日本ユニシス 車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始
～マーケット拡大で相互協力、ビッグデータを利用した新サービスの共同検討に着手～
名神高速道路などNEXCO西日本管内の「電気自動車用急速充電設備」に充電インフラシステムサービス「smart oasis」を提供
大日本印刷、日本ユニシス、図書館流通センター、丸善 クラウド型電子図書館サービスを刷新、図書館と生活者の利便性向上へ

©2013日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス

公共分野

社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化

堀場製作所と日本ユニシス 車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始 マーケット拡大で相互協力、ビッグデータを利用した新サービスの共同検討に着手

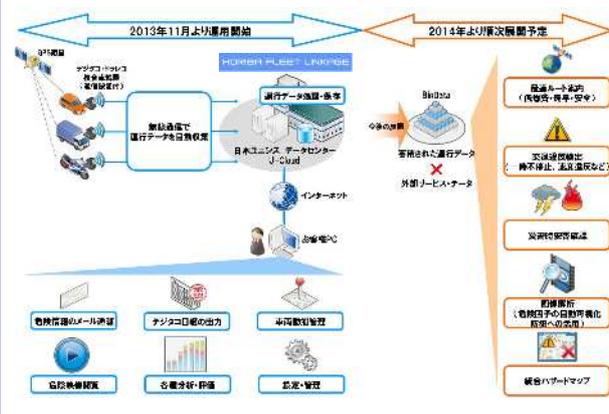
●堀場製作所は、デジタルタコグラフやドライブレコーダーから無線を使って、リアルタイムに運行情報をデータセンターに収集する新運行管理システム「HORIBA FLEET LINKAGE」を11月から運用開始

●日本ユニシスのドライブレコーダーを活用したクラウドサービス「無事故プログラムDR」のアーキテクチャーやネットワーク基盤を活用

●「HORIBA FLEET LINKAGE」は、急ブレーキ時の映像や燃費、車両の動態などを管理する既存システムの機能を生かし、新たに危険運転時には瞬時にメール通知ができるクラウドサービスとして提供

●両社は、今後ビッグデータを活用し、蓄積される運行データを解析することで、低燃費ルート・安全ルート・最早ルートの案内の提供や映像解析など最新の技術を利用する事により、事故やヒヤリハットだけではなく、危険因子の可視化や防犯などに活用できるサービスを共同で開発予定

「HORIBA FLEET LINKAGE」サービス概要図



©2013日本ユニシス株式会社

(敬称略)

事業トピックス 公共分野

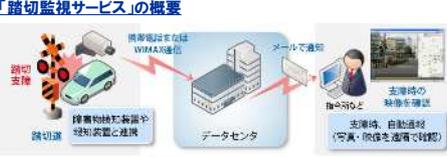
社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

クラウドで提供する 「踏切監視サービス」を本格展開

ドラレコの技術を元に、安心・安全なサービスを、低価格に提供

- 初期投資不要で、月額利用
- 踏切内に通信機能を持ったカメラを設置し、遠隔で映像を確認可能
- 携帯網やWIMAX通信により、「支障情報」がデータセンターへ送られ、管理者へメールで通知
- 管理者は、支障時に写真や映像で確認することができるため、早期に支障対応が可能

「踏切監視サービス」の概要



踏切監視機能



自動通報機能／動画再生画面



©2013日本レコーズ株式会社

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

日本ユニシスと日本気象協会が提供する 「災害監視カメラサービス」サイカメZERO

カメラの設置可能場所が拡大！災害をくまなく監視！もれなく監視！
ドラレコの技術を元に、クラウドと通信環境で、低価格に提供

- クラウドと携帯通信(3G回線およびWIMAX回線)で提供
- 回線敷設初期コストや、システム構築費用が不要の月額利用
- 日本気象協会の多様なサービスとの連携も可能。
- カメラ画像配信
 - ①5分毎にカメラ画像を取得②データセンターに送付③これらを管理PC画面に表示
- センサー連携(別途仕組みの構築が必要)
 - ①アナログ・デジタルの各種センサー情報を取得②サーバ上で情報管理
 - ZigBeeを利用するため、携帯通信が圏外でもサービス提供可能
 - ③閾値を越えたときの画像を管理PC画面に表示
 - ④センサー情報に閾値設定することで、各種サービスが利用可能

災害監視カメラサービス「サイカメZERO」機能概要図
(オレンジ=サービス範囲、青=オプション)



(敬称略)

事業トピックス 公共分野

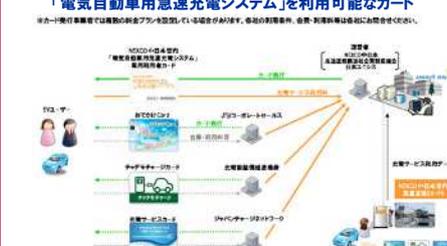
社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

中央道のサービスエリアで 「電気自動車用急速充電システム」を運用開始

複数の充電サービスカードとも連携し、EVユーザーの利便性を向上

- NEXCO中日本と高速道路関連社会貢献協議会が、共同で中央自動車道のサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)で運用を開始している「電気自動車用急速充電システム」へ「smart oasis」を提供
- すでに、東名高速道路および新東名高速道路などのSA、計21箇所まで運用していて、中央自動車道などのSAやPAの17箇所が増設され、「電気自動車用急速充電システム」は計38箇所にまで拡充
- 中央道でも、東京～名古屋間をEVで連続走行することが可能に
- 充電には、専用の利用者カードのほか、「おでかけCard」、「チャデモチャージカード」、「ジャパンチャージネットワークの充電サービスカード」を用いて利用できる

「電気自動車用急速充電システム」を利用可能なカード



©2013日本レコーズ株式会社

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

名神高速道路などNEXCO西日本管内の 「電気自動車用急速充電設備」に 充電インフラシステムサービス「smart oasis」を提供

- NEXCO西日本が名神高速道路などのサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)に整備する「電気自動車用急速充電設備」において、ミライテック社が実施する利用環境調査に、「smart oasis」を提供
- 吹田SA(上下線)、草津PA(上下線)、桂川PA(上下線)、山陽自動車道の三木SA(上下線)、福石PA(上下線)、吉備SA(上下線)、岡山自動車道の高梁SA(上下線)、米子自動車道の藤山高原SA(上下線)、大山PA(上り線)、高知自動車道の馬立PA、立川PA、九州自動車道の宮原SA(上下線)、大分自動車道の山田SA(上下線)の23基が増設され、2013年10月4日に全設備がサービス開始
- 沖縄自動車道の6基と合わせてNEXCO西日本管内の「電気自動車用急速充電設備」は計29基にまで拡充
- 沖縄自動車道の6基を除く、今回、整備された23基の「電気自動車用急速充電設備」に「smart oasis」を提供し、充電器の利用データの収集・管理、カーナビやWebサイトへ満充情報を配信する情報サービスなどを提供

■NEXCO西日本管内「電気自動車用急速充電設備」設置場所



(敬称略)

事業トピックス 公共分野

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

自治体向け 「電気自動車(EV)充電インフラマップ」 の無償提供を開始

- 自治体向けに無償提供する「充電インフラマップ」は、自治体の「充電インフラ整備ビジョン」に基づいて整備が進められる充電スタンド情報を、充電インフラシステムサービス「smart oasis」を用いてEV・PHV利用者に発信
- 地図上のアイコンによって、満空情報などリアルタイムの充電スタンド状態を識別できる機能の追加と「smart oasis webサイト」を刷新。
- 自治体は、管理者自らが「smart oasis webサイト」上で充電スタンド情報の登録・更新が可能。登録した情報を自治体や地域の観光団体などのホームページからも提供可能

自治体向け「EV充電インフラマップ」の 無償提供サービス概念図



「充電インフラマップ」画面例

©2013日本印刷株式会社

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

薩摩川内市が甑島(こしきしま)で開始する 「EV導入実証事業」の充電スタンド管理に、 充電インフラシステムサービス「smart oasis」を提供

- 本事業は、甑島の持続可能な環境保護と観光振興が両立したエコアイランド化を目指し、EV3台を公用車として導入、休日や観光シーズンは、レンタカーとして観光客や市民に、島内のレンタカー事業者から貸し出す事業。甑島に2基の充電スタンドを設置し、本事業で導入するEVの充電に利用
- 薩摩川内市は、充電スタンドを同時期に実施する、甑島超小型モビリティ導入実証事業でも利用し、充電スタンドの利用データなどを市内での充電インフラ整備に活用予定
- 「smart oasis(スマートオアシス)」にて、甑島に設置した充電スタンドの利用者認証や利用履歴管理を行う。島内のEV・PHVユーザーは、薩摩川内市が発行する利用者カードで充電スタンドの利用ができ、カーナビゲーションシステムやWebサイト、スマートフォンなどで充電スタンド位置情報や空き情報、メンテナンス情報を入手可能



(敬称略)

事業トピックス 公共分野

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

佐渡地域医療連携ネットワーク (さどひまわりネット) 2013年4月1日稼働

佐渡地域の病院、診療所、歯科診療所、調剤薬局、介護福祉関連施設などを、ネットワークで結び、患者の医療情報や介護情報を共有・活用する、日本では前例のないネットワーク



地域医療連携ネットワークの特徴

- 既存の医療情報システムの有効活用
- 情報集約型地域医療連携システム
- 多様な医療機関における、双方向連携の実現
- 使いやすさにこだわった、システムの提供

©2013日本印刷株式会社

社会基盤設計技術力
およびアライアンスの強化

DNP連携

大日本印刷、日本ユニシス、図書館流通センター、丸善 クラウド型電子図書館サービスを刷新、 図書館と生活者の利便性向上へ

●大日本印刷(DNP)、日本ユニシス、図書館流通センター(TRC)、丸善の4社は共同で、図書館向けにクラウド型で提供する新たな電子図書館サービスを2014年4月に提供開始

●DNPは電子図書館サービス全体の企画・設計を行う。日本ユニシスはシステムの設計・開発・クラウド環境提供を担当DNPグループのモバイルブック・ジェービーが図書館向け電子書籍コンテンツの調達を行い、TRCが公共図書館向け、丸善が大学図書館向けに本サービスの販売を担当

●DNPグループと日本ユニシスはそれぞれ2010年度にサービス開始して以来、公共図書館を中心に累計20館以上の実績がある

●2011年度からは札幌市中央図書館との実証実験を共同で進め、そこで得られた成果や既に導入している図書館からの要望などを新たな仕組みの刷新に繋げた

●両社は2012年度より共同で現在の電子図書館サービスの提供を開始しているが、今回、生活者、図書館および出版社にとって、より利便性が高い電子図書館サービスへのリニューアルを共同で実施

●本サービスは、公共図書館や大学図書館に、電子図書館の構築・運営に必要なシステムや利用可能な電子書籍などをクラウド型で提供

●電子書籍は、「文芸」、「ビジネス」、「言語学習」、「専門書」等の分野を中心に1万タイトル以上が提供可能



(敬称略)

大日本印刷と日本ユニシス 業務提携の狙い

異業種提携で新事業・新サービスを創出

新規市場拡大の実現に向け事業基盤を強化する4つの取り組みを推進

企業や生活者、社会が様々な課題に直面

DNP

UNISYS

- 印刷技術を核とした事業構築力
- 独自の「P&Iソリューション」
- 顧客開発力と企画・生産力

- 国内有数のシステムベンダ
- クラウド市場の立上げを牽引
- マーケット創造への取り組み

**消費者生活や企業経営を大きく進化させる
新しい事業やサービスを市場に展開**

POINT

- ① サービス事業基盤
- ② マーケティング
- ③ プラットフォーム
- ④ グローバル

大日本印刷と日本ユニシス 連携ソリューション展開

両社サービスを連携し、ワンストップサービスによる お客様の利便性向上

DXNビジネス推進部 トピックス **新たな業務提携への取り組み**

DNP連携

大日本印刷と日本ユニシス マーケティングプラットフォームの共同開発

顧客の求める商品やサービス、購入、利用や閲覧の導線を把握し、購入額や利用率の向上を実現する最適な仕組み、運用をマーケティングプラットフォームとして共通化



DXNビジネス推進部 トピックス **新たな業務提携への取り組み**

DNP連携

大日本印刷と日本ユニシス サービス事業基盤の強化

両社データセンターを連携させた大規模サービス基盤を形成



U-Cloudサービス事業の推進



U-Cloudサービスとは

日本ユニシスグループの「U-Cloudサービス」は、お客様の要件に最適化したICT環境を提供するサービスです。情報システム部門が抱えている、ICT技術の多様化や複雑化に追従することができない、短縮化されたICT環境導入のリードタイムに対応することが困難、システム環境の保守・運用に拘束されるなどの課題に対して、設計から運用・保守までを一貫したサービスを提供し、情報システム部門が抱えている課題解決を支援します

主な取り組み（2013年4月～2013年10月）

- 2013年5月 業界初のクラウドで提供する「踏切監視サービス」を本格展開
- 2013年9月 日本気象協会、「日本ユニシス クラウドと携帯通信環境で提供する、災害監視カメラサービス「サイカメラZERO™」を販売開始
- 2013年10月 U-Cloud IaaSで「インフラ移行オプション」サービスの提供開始
- 2013年10月 大日本印刷と日本ユニシス、商品情報を一元管理するPIMシステム「PRO-V(プロ・ファイブ)」のクラウド型サービスを販売開始
- 2013年10月 堀場製作所、日本ユニシス、車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始
- 2013年10月 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みの強化に向け、ICTソリューションのラインアップを拡大

©2013日本ユニシス株式会社

U-Cloudサービス トピックス



日本ユニシスグループ 日経BP社「第7回クラウドランキング」において、 3部門5サービスが「ベストサービス」に選出

■クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)部門
U-Cloud® IaaS（日本ユニシスグループ）

■汎用情報系 SaaS部門
LearningCast® update9（日本ユニシス）
iSECURE® eラーニングセキュリティ教育サービス（日本ユニシス）

■特定業種業務向け SaaS部門
TRADEBASE® for FX（日本ユニシス）
学校向け授業管理システム RENANDI®（日本ユニシス）



日経コンピュータ2013年10月17日号掲載

第7回クラウドランキングの概要

「ベストサービス」は、ベンダー215社に依頼したアンケート調査から、クラウド関連サービスの仕様を詳しく調べた結果に基づいて選出されています。評価は「クラウドらしさ」と「既存システムからの移行のしやすさ」、「情報公開の程度」などを重視して一定の基準で実施されています。「ベストサービス」には、①クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)、②汎用業務系SaaS、③汎用情報系SaaS、④特定業種業務向けSaaS、⑤パブリッククラウド導入支援サービス、⑥プライベートクラウド構築支援サービス、⑦データセンターの7部門で50サービスが選出されています。

©2013日本ユニシス株式会社

小浜データセンターが
「第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013」ベスト環境賞を受賞

日本ユニシスは、NPO法人ASP・SaaS・クラウド コンソーシアム (略称:ASPIC)が主催した「第7回 ASP・SaaS・クラウドアワード2013」のデータセンター部門において、ベスト環境貢献賞を受賞しました

<受賞内容>
データセンター部門
ベスト環境貢献賞

ベスト環境貢献賞は、CO2削減等環境に貢献しているデータセンターを表彰するもので、小浜データセンターは、BCPやクラウドサービス拠点として、自然環境に配慮し、最新技術を駆使し構築した省電力型・郊外型の次世代データセンターとして高い評価を頂きました



※小浜データセンター概要

JDCC (日本データセンター協会) 設定のティアレベル3~4、FISC安全基準に対応した次世代データセンター

- 日本最高レベルのPUE1.2の省エネルギーシステム
空調システム系の大幅な動力低減を実現
- 自家発電措置の無給油連続運転可能な時間数は96時間
非常用発電設備は冗長構成
- IT機器の高密度化が可能
平均実行5KVA/ラック、1.5t/mに対応



©2013日本ユニシス株式会社

日本ユニシスグループ トピックス

ユニアデックス

日経BP社「日経コンピュータ 第18回 顧客満足度調査」の「システム運用関連サービス(情報サービス会社)部門」で、2年連続1位を獲得



ユニアデックス (日本ユニシスグループ)
◇システム運用関連サービス (情報サービス会社) 部門
1位

日本ユニシス

- ◇ITコンサルティング/上流設計関連サービス (メーカー) 部門 3位
- ◇システム開発関連サービス (メーカー) 部門 2位
- ◇システム運用関連サービス (メーカー) 部門 4位

出典：日経コンピュータ 2013年8月22日号 第18回顧客満足度調査

©2013日本ユニシス株式会社

グローバルビジネスへの取り組み

お客様の海外進出支援の強化

2013年度 日本ユニシスに「グローバルビジネス推進部」を新設

日本ユニシスグループ各社と横断的に連携を取りながら、お客様の海外ビジネスを強力に支援
タイ、インドネシアに駐在員を配置し、現地日系企業をサポート

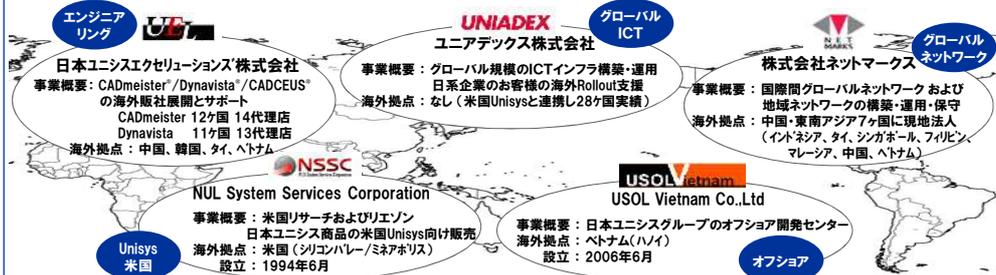
■日本ユニシスグループ海外現地法人と拠点（ネットマークス）

インドネシア	ジャカルタ・スラバヤ・バリ
タイ	バンコック
シンガポール	シンガポール
フィリピン	マニラ・セブ
中国	上海・北京・広州・大連・南京・天津・深圳・瀋陽
マレーシア	クアラルンプール
ベトナム	ハノイ・ホーチミン・ダナン

■海外現地法人の主な提供サービス/ソリューション

オフィス・工場向け ITインフラ機器の 設計・構築・保守	ネットワーク セキュリティ(FW, LB) 認証(AD, LDAP) PC(日本語)	PCサーバ ストレージ PC(日本語)	電話 TV会議
回線	国際専用線	インターネット回線	WAN高速化装置
業務AP	生産管理・工程管理システム開発等		
サポート・サービス	機器の保守サービス クラウドサービス	ITアウトソーシングサービス 国内監視サービス グローバル監視サービス(日本)	
工事	ネットワーク工事	電算室工事	

■日本ユニシスグループの海外展開



©2013日本ユニシス株式会社

(敬称略)

新たなビジネス領域への取り組み

ソリューションサービスの強化

ビッグデータ利活用～ BigDataをBigValueに変える～ 「ビッグデータ適用シナリオ」と「ソリューションセット」

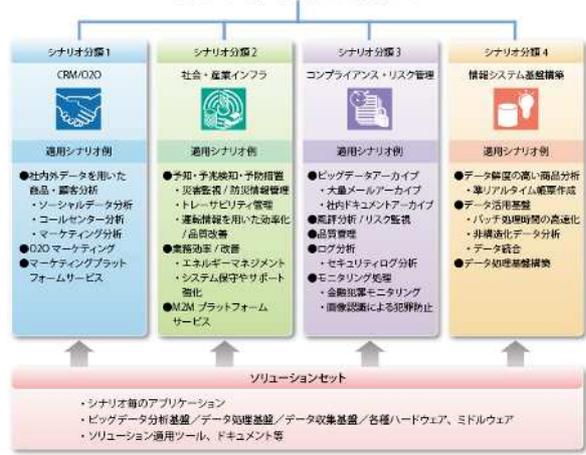
- 日本ユニシスグループでは、お客様のニーズや当社が毎年選定しているIT利活用の未来像「TechnologyForsights」などから、ビッグデータの活用が見込まれる領域を選定
- さらにその中で使われるデータや要素技術、活用形態に共通性がないかを考慮し、ビッグデータの適用シナリオを大きく4つに分類
- 各シナリオごとに、日本ユニシスグループが持つ各種ソリューションや知財を組合せ、技術検証済みのソリューションセットとして提供

●ソリューションセット



日本ユニシスグループのビッグデータ適用シナリオ分類

ビッグデータの様々なアプリケーション活用シーン



©2013日本ユニシス株式会社

主なニュースリリース（2013年4月～10月）

2013年10月末 現在

発表日		内 容
1	4月1日	<p>日本ユニシス 中央道のサービスエリアで「電気自動車用急速充電システム」を運用開始</p> <p>～ 複数の充電サービスカードとも連携し、EVユーザーの利便性を向上 ～</p> <p>日本ユニシスは、中日本高速道路（NEXCO中日本および高速道路関連社会貢献協議会が共同で、本日から中央自動車道他のサービスエリア（SA）、パーキングエリア（PA）で運用を開始する「電気自動車用急速充電システム」へ充電インフラシステムサービス「smart oasis®（スマートオアシス）」を提供します。これまで、「電気自動車用急速充電システム」は、東名高速道路および新東名高速道路の全てのSAなど計21箇所まで運用されています。このたび、中央自動車道の談合坂SA（上下線）、双葉SA（上下線）、諏訪湖SA（上下線）、駒ヶ岳SA（上下線）、恵那峡SA（上下線）、長野自動車道の梓川SA（上下線）、名神高速道路の尾張一宮PA（上下線）、多賀SA（上り線）、伊勢湾岸自動車道の刈谷PA（上下線）の17箇所が増設され、計38箇所まで拡充されます。</p>
		<p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p>
2	4月15日	<p>日本ユニシス 全国金融機関初、大垣共立銀行のドライブスルー型店舗「ドライブスルーながくて出張所」に設置されたEV急速充電スタンドに、充電インフラシステムサービス「smart oasis®」を提供</p> <p>日本ユニシスは、大垣共立銀行が本日オープンした全国金融機関初のドライブスルー型店舗「ドライブスルーながくて出張所」に設置されたEV急速充電スタンドに、充電インフラシステムサービス「smart oasis」の提供を開始します。大垣共立銀行の銀行口座をもつお客さまであれば誰でも、ドライブスルーながくて出張所のドライブスルー窓口やドライブスルーATMと同様に、EV急速充電サービスを利用することができます。日本ユニシスは、充電インフラシステムサービス「smart oasis」を提供し、EV急速充電スタンドの利用者認証や故障監視などの充電サービスの管理を行います。</p>
		<p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p>
3	4月17日	<p>ネットマークス ネットワーク上のトラフィックをリアルタイムで活用可能な専用スイッチ「GigaVUE®シリーズ」を拡販</p> <p>ネットマークスは、Gigamon LLC.（ギガモン社）が提供するGigaVUEシリーズを、4月より本格的に拡販します。本製品は、ネットワーク上のトラフィックをリアルタイムで複製し、不正アクセス監視などのシステムへと転送することが可能な専用スイッチです。ネットワーク上に本製品を設置することにより、既存のネットワークに影響を与えることなく、トラフィックを可視化することが可能となります。ネットマークスでは、本製品をネットワーク監視ツールやアクセス解析システムなどと組み合わせることにより、セキュリティ対策やマーケティング活動に活用できるソリューションとして提供します。</p>
		<p>インフラサービスの強化</p>
4	4月22日	<p>日本ユニシス 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みを開始</p> <p>～ 地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援。第一弾として百五銀行、鹿児島銀行と業務提携契約を締結 ～</p> <p>日本ユニシスは、地域金融機関と取り組みが広がっている有償ビジネスマッチングのスキームを活用して、ICTソリューションの販売を促進する新たな取り組みを開始します。第一弾として、百五銀行、鹿児島銀行と、ICTソリューション分野におけるビジネスマッチングに関する業務提携契約をそれぞれ締結しました。百五銀行、鹿児島銀行が日本ユニシスの取り扱いICTソリューションを取引先企業へ紹介し、日本ユニシスと取引先企業が成約に至った場合にビジネスマッチング手数料を支払うスキームです。日本ユニシスがさまざまな産業分野で培ったICTの豊富なノウハウと、地域金融機関の地域における信用力や目利き力を組み合わせることで、取引先企業の本業をサポートし、地域経済の活性化を支援します。</p> <p>■提携内容：百五銀行、鹿児島銀行の取引先企業のニーズに応じた「ICTソリューション」の紹介ならびに提供。 ■ICTソリューション：smartaxi®、無事故プログラムDR® など。</p>
		<p>共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化</p> <p>サービス連鎖の強化</p>
5	4月26日	<p>日本ユニシス 先進的な2次元カラーコード「カメレオンコード」と手軽なスマートフォンの組み合わせで、利用者への新たな価値創造と企業への新たなビジネス展開を提供</p> <p>～ 4月26日（金）～5月6日（月）開催の'13食博覧会・大阪で、スマートフォンアプリ「食博ナビ」を提供。国内初、来場者の屋内位置情報をカメレオンコードで把握し、O2Oサービスを提供するテストマーケティングを実施 ～</p> <p>日本ユニシスは、本日から5月6日までインテックス大阪で開催される「'13食博覧会・大阪」で、カメレオンコードと呼ばれる2次元カラーコードを活用した、O2Oサービスのテストマーケティングを実施します。カメレオンコードとスマートフォンの組み合わせで、バーコードやQRコードを読み取るための距離といった問題を解決し、ショッピングモールや駅の地下街などのGPSの利用ができないエリアで、利用者への新たな価値創造や企業への新たなビジネスを提案します。カメレオンコード（Chameleon Code®）は、株式会社シフトが開発した、シアン・マゼンダ・イエロー・ブラックを基本色とした、高速で高精度の複数同時認識が可能な2次元カラーコードです。QRコードのように接写する必要がなく、離れた場所からスマートフォンなどの端末をかざすだけで現在位置などの情報を読み取ることができます。またデザイン性にも優れており、ポスターやデジタルサイネージでの利用にも適しています。</p>
		<p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p>

発表日		内 容
6	5月8日	<p>日本ユニシス インテル®プロセッサを採用した、エンタープライズサーバー中小型機の新シリーズを販売開始</p>
	インフラサービスの強化	<p>～「Unisys ClearPath® Server CS4200D シリーズ」を提供～</p> <p>日本ユニシスは、米国ユニシスのエンタープライズサーバー中小型機の「CS4200Dシリーズ」の販売を本日から開始します。「CS4200Dシリーズ」は、インテル プロセッサを採用した「CS4100Dシリーズ」の後継機種です。「CS4100Dシリーズ」と同様に、新アーキテクチャーにより再コンパイルなしに既存OS2200アプリケーションの稼働を実現しています。前シリーズに比べ、単一OS2200環境下のシステム最大性能の40%向上を達成したほか、従量制料金への対応および、中小型機で初めて外部連携専用エンジンの単一サーバーハードウェア上への統合と標準搭載提供を実現しました。</p>
7	5月9日	<p>日本ユニシス 業界初のクラウドで提供する「踏切監視サービス」を本格展開</p>
	社会基盤設計技術力およびライアンスの強化	<p>～ドラレコの技術を元に、安心・安全なサービスを、低価格に提供～</p> <p>日本ユニシスは、踏切の支障(故障など)や事故の発生を即座に検知する「踏切監視サービス」の本格展開を開始します。「踏切監視サービス」では、踏切内に通信機能を持ったカメラを設置し、遠隔で映像を確認できます。踏切支障が発生すると携帯網やWiMAX通信により、支障情報がデータセンターへ送られ、管理者へメールで通知します。管理者は、支障時に写真や映像で確認することができるため、早期に支障対応が可能になります。また、日本ユニシスのドライブレコーダーを活用したサービス(無事故プログラムDR®)の技術を元に開発しているため、開発費や運用費などのコストが低減でき、初期費用が必要なく、月額利用料のみでサービスが利用できます。本サービスは、2012年から実証実験を経て、2013年4月時点で、南海電気鉄道株式会社、一畑電車株式会社など鉄道会社10数社に導入されています。</p>
8	5月31日	<p>日本ユニシス 静岡県信用金庫協会と、全国初「信用金庫の手形管理業務の共同化」を実現</p>
	共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化	<p>～静岡県内12信用金庫の手形交換・手形期日管理業務を、BPOサービスとして受託し一元化。信用金庫の競合力強化と共同化による事務コスト削減を支援～</p> <p>日本ユニシスは、静岡県信用金庫協会が新規に立ち上げた「静岡県信用金庫共同センター」で実施する、静岡県内12信用金庫の手形交換・手形期日管理業務をアウトソーシング受託しました。県共同センターは静岡市内に設置され、2014年4月に本格稼働を開始予定です。今回の「信用金庫の手形管理業務の共同化」は、県内12信金が共に手をたずさえ、各金庫で共通する事務の一元化により事務コストを削減することで、県内での競合力を強化することを目的としたものです。電子記録債権の影響で発行数の減少が想定されるものの、将来にわたって管理やシステム運用の負担が残り単独金庫では効率化が図りにくい手形管理業務から共同化を進め、機器・システム運用や手形エントリー業務をアウトソーシングすることで、県内12信金のコスト削減を実現します。こうした県下の全信用金庫が一丸となって業務の共同化に取り組む事例、および手形管理業務の共同化は、全国初となります。日本ユニシスは金融機関の事務集中分野における長年の実績と豊富なノウハウが評価され、県協会からシステムパートナーに選ばれました。</p>
9	6月4日	<p>日本ユニシス ビッグデータの課題を解決する統合アーカイブソリューション「ZL Unified Archive」を提供開始</p>
	ソリューションサービスの強化	<p>～自社システムでの適用によりアーカイブ導入ノウハウを蓄積、トータルな支援を提供～</p> <p>日本ユニシスは、ZL Technologies Inc. の統合アーカイブソリューション「ZL Unified Archive (ZL UA)」を本日から提供開始します。「ZL UA」は、企業のサーバーに蓄積された、電子メールやさまざまな電子データを統合管理するシステムであり、日本ユニシスにおいても、監査の信頼性向上、ストレージコストの削減のため、自社内での導入を行っています。従来のアーカイブシステムは、「サイロ型」と呼ばれる管理方法がとられてきました。「サイロ型」では、「ストレージ最適化」「eディスクカバリー」「文書記録管理」「コンプライアンス」など機能ごとにサーバーが分割しているため、それぞれの機能に対してデータがコピーされるため、保持ポリシーと検索の不統一、無駄の多いデータ管理などが大きな課題となってきました。「ZL UA」はユニファイド(統合型)システムであるので、多様なデータソースを単一プラットフォーム上でアーカイブ・管理・検索することができ、非構造化ビッグデータの効率的保存・分析に対する課題を解決することができるソリューションです。</p>
10	6月5日	<p>日本ユニシス 音波を利用したBtoB向けO2Oサービスの実証実験</p>
	共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化 DNP連携	<p>～大日本印刷などパートナー企業のソリューションと連携し、「個客」との持続的なリレーション構築を実現する「サステナブル・カスタマーバリュー」を提供～</p> <p>日本ユニシスは、音波を利用したBtoB向けO2Oサービスの実証実験を実施するとともに、企業と「個客」の持続的なリレーション構築を実現するフレームワーク「Sustainable Customer Value/サステナブル・カスタマーバリュー™」を本日から提供開始します。日本ユニシスは、カメレオンコードやソーシャルメディアなどを活用したBtoC向けのO2Oサービスの運用実績があります。本実証実験は、音波を利用した位置情報連動型O2Oサービスを活用して、BtoB向けイベントの来場者と出展ブースを結びつけ、イベント会場の回遊を促すことを目的として、6月6日から開催する「日本ユニシスグループ総合フォーラムBITS® 2013」にて実施します。</p>

発表日		内 容
11	6月7日	<p>日本ユニシス、アレックス 工芸品などの「日本の優れたモノ」を対象とした海外販路拡大プロジェクトで協業</p> <p>～ 海外販路拡大に意欲的な中小企業を一貫して支援する、ビジネスプラットフォームを提供。日本の優れたモノ・ヒト・文化を世界に発信し、観光誘致や地域活性化にも貢献 ～</p> <p>日本ユニシスとアレックスは、工芸品などの「日本の優れたモノ」を対象とした海外販路拡大プロジェクトにおいて、協業を開始します。販売、プロモーション、決済、物流、アフターフォローまで一貫したサービスを提供するビジネスプラットフォームにより、海外販路拡大に意欲的な中小企業などの事業者を支援します。アレックスの海外向けECプラットフォーム事業「ALEXCIOUS®(アレクシャス)」のノウハウと、日本ユニシスが2012年1月から手がけてきた多品種少量生産品の海外販路拡大支援プロジェクトで培ったノウハウを結集し、商品プロデュースや販売プロモーションの相乗効果を高め、新しいWeb関連技術も取り入れながら海外販路拡大に意欲的な事業者を支援します。</p>
		<p>共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化</p>
12	6月27日	<p>ユニアデックス メールアウトソーシングサービス「スパークメール®(IMAP)」を提供開始</p> <p>～ データをクラウドに格納するセキュアな運用環境を実現。スマートフォンでの利用も可能に ～</p> <p>ユニアデックスは、電子メールデータをクラウドに格納する方式(IMAP方式)を採用し、さらにスマートフォンでのメール送受信も可能にしたメールアウトソーシングサービス「スパークメール(IMAP)」を、本日から提供開始します。「スパークメール(IMAP)」は、アイマトリックスの次世代型ノンストップメールシステム「マトリクスメール」をベースに、ユニアデックスのデータセンター上に構築したサービスで、2009年から提供している「スパークメール」を、IMAPに対応させた機能拡張版となります。機能を拡張しながら、従来版と同じ利用料金を設定し、基本容量1GB/IDで月額350円(税別)～、容量追加が30円(税別)/1GBと廉価で利用できます。</p>
		<p>インフラサービスの強化</p>
13	7月2日	<p>ANA、日本ユニシス 国内線旅客システムを世界で初めて「オープンシステム」にて刷新</p> <p>～ 大手ネットワークキャリア初のオープンシステム化により、低コストで迅速な顧客サービスの投入が可能に ～</p> <p>ANAと日本ユニシスは、ANAの「予約～発券～搭乗」の国内線旅客サービスに対応する基幹系システムをオープンシステムに移行し、稼働開始しました。ANAの国内線旅客システムは、大手ネットワークキャリアとしては、世界初の「オープンシステム」です。ANAと日本ユニシスは、ANAで34年間、汎用機上で稼働してきた国内線旅客システム「able-D」について、システム改修を続けたことに起因するシステム自体の硬直化、開発生産性の飛躍的向上が見込めなくなりつつあることなどが考えられました。ANAと日本ユニシスは、米国ユニシスが保有している、オープンシステム上で稼働する、最新エアライン・パッケージソフトウェア「AirCore」をベースに、再構築することとし、全面稼働しました。ANAは「AirCore」を採用することで、予約システムを大手ネットワークキャリアとしては、世界初のオープンシステムで稼働しました。日本ユニシスは、ANAと連携しANAの国内線旅客システムに対し、プラットフォーム、ソリューションの調達、SIサービスなどの最新テクノロジーの投入を積極的に実施し、ANAの今後のシステム改修や強化を全面的にサポートしていきます。なお、今回のシステム移行は、緻密な実行計画と、安定した実行基盤により、4時間半にてシステムの切り替えを完了しております。今後は、この実行基盤を基にクラウド化などの商品化をすすめ、航空業界をはじめ金融、EC他のマーケットに対し展開、拡販していきます。</p>
14	7月5日	<p>日本ユニシス 地域金融機関の新たなビジネスプラットフォームを創る「NextVisionプロジェクト」を開始</p> <p>～ 地域金融機関と共に、「社会とつながり、情報を集めて、ビジネスを創造し、成長を支えるビジネスプラットフォーム」の企画・構築を推進。地域金融機関を核として、ビジネス連鎖による地域経済の活性化、地域の社会基盤構築を支援 ～</p> <p>日本ユニシスは、地方銀行や信用金庫などの地域金融機関の、将来に向けた成長を支えるビジネスプラットフォームを企画・構築する「NextVisionプロジェクト」を本格的に開始します。日本ユニシスは、2012年度から3か年の中期経営計画を推進する中で、地域金融機関のお客さまに向けて、従来からの基幹勘定系システムや各種情報系システムを提供する「コアビジネス」に加えて、お客さまとのパートナーシップにより業種・業態の垣根を越えて価値連鎖を生み出す「共創ビジネス」や、社会インフラを担うステークホルダー(自治体/エネルギー/交通/医療など)と連携してスマートで価値の高い社会インフラの構築を目指す「社会基盤ビジネス」などの取り組みを積極的に進めています。こうした新たな活動の実績や成果が少しずつ現れてきたことから、このたび「NextVisionプロジェクト」と活動の名称を統一し、地域金融機関に向けた価値創出の取り組みをさらに加速します。</p> <p>※「NextVisionプロジェクト」は、2013年10月1日より「Next U's Vision™プロジェクト」に名称が変わりました。</p>
		<p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p> <p>サービス連鎖の強化</p>
15	8月1日	<p>薩摩川内市「EV導入実証事業」を甕島(こしきしま)で開始</p> <p>～ 充電スタンド管理に、充電インフラシステムサービス「smart oasis®」を導入 ～</p> <p>薩摩川内市は、日本ユニシスの協力を得て、「甕島EVレンタカー導入実証事業」を本日から開始します。薩摩川内市では、市内に内在する多くの課題を解決できる「市民の喜ぶエネルギー一面での処方箋」を提示することを目的とし、本年3月に次世代エネルギービジョンを策定しました。その中で触れられている10年から20年先の『ありたい姿(未来像)』を見据えた「次世代エネルギーを活用したまちづくり」のためにさまざまな施策に取り組んでいます。本事業では、甕島の持続可能な環境保護と観光振興が両立したエコアイランド化を目指し、EV3台を公用車として導入し休日や観光シーズンは、レンタカーとして観光客や市民に、島内のレンタカー事業者から貸し出す事業です。このことにより、甕島観光における島内交通の充実を図り、観光客の利便性向上に加え、行動範囲が拡大することによる経済振興を目指します。また、甕島に2基の充電スタンドを設置し、本事業で導入するEVの充電に利用します。日本ユニシスは、甕島に設置した充電スタンドの利用者認証や利用履歴管理を行うため「smart oasis」を提供します。島内のEV・PHVユーザーは、薩摩川内市が発行する利用者カードで充電スタンドの利用ができ、カーナビゲーションシステムやWebサイト、スマートフォンなどで充電スタンド位置情報や空き情報、メンテナンス情報を入手することが可能です。</p>
		<p>社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化</p>

発表日		内 容
16	8月6日	<p>ネットマークス マルチデバイス認証ソフトウェア『SecureSuiteV』が手のひら静脈認証に対応</p>
	インフラサービスの強化	<p>～ お客様の環境に合わせた柔軟かつ強固な認証システムを提供 ～ ネットマークスは、この度、ビジネスユースでのログイン認証強化のため、マルチデバイス認証ソフトウェア『SecureSuiteV(セキュアスイート ファイブ)』に、富士通フロンテック製の手のひら静脈認証センサー『PalmSecure(パームセキュア)』を認証デバイスとして新たに追加し、より強固で、偽造やなりすましが困難な認証システムを実現しました。マルチデバイス認証ソフトウェアSecureSuiteVは生体認証デバイスやICカードなどを活用することで、WindowsログオンやVDI環境へのログインを行う際の本人認証を強化するソフトウェアです。手のひら静脈認証センサーPalmSecureは、高精度の認証能力を有し、偽造やなりすましを防止できることから強固な認証システムに最適なデバイスです。また、完全非接触型なため衛生的であり、自然な動作で認証できる点も特長です。今回、PalmSecureとの連携で、本人認証システムをより強固にするとともに、お客様の環境やニーズに合わせ柔軟な認証システムを幅広くご提供します。</p>
17	8月19日	<p>ユニアデックス 日経BP社「日経コンピュータ 第18回 顧客満足度調査」の「システム運用関連サービス(情報サービス会社)部門」で、2年連続1位を獲得</p>
		<p>ユニアデックスは、日経BP社のIT系総合メディアである「日経コンピュータ」が企画する「第18回 顧客満足度調査」の「システム運用関連サービス(情報サービス会社)部門」で1位を獲得しました。ユニアデックスの本賞の受賞は、昨年度に続き2年連続となります。今回の受賞は、さまざまな機器で構成されるマルチベンダーシステムのトラブル案件に対し、コール受付から修理完了までをワンストップで迅速に応えるサービス姿勢が、昨年度に続き評価されたものと考えます。また、LOOK CUSTOMER、Be Prepared! という2つの標語のもとに、お客さまの意向を最優先する姿勢やセキュリティリスクに徹底的に配慮する姿勢が高く評価された結果、当社が最も提供したいと願う“おもてなしの心”が理解されたものと認識しています。 今後もユニアデックスは、サポート部隊やロジスティクスなどの現場サポート体制を万全にし、複雑化するシステムの不具合を予見し解決策を提案できるよう、一層踏み込んだサービスをお客さまに提供出来るよう努めていきます。</p>
18	8月26日	<p>日本ユニシス 自治体向け「電気自動車(EV)充電インフラマップ」の無償提供を開始</p>
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	<p>日本ユニシスは、自治体向けに「EV・PHV充電インフラマップ(充電インフラマップ)」の無償提供を本日から開始します。EV・PHVの充電インフラは、政府によって1,005億円におよぶ充電器設置補助施策が打ち出され、全国で充電スタンドの設置が一気に加速されることが期待されています。自治体向け「充電インフラマップ」の無償提供は、充電インフラの急速な拡大が期待される中、自治体の「充電インフラ 整備ビジョン」に基づいて整備が進められる充電スタンド情報を、日本ユニシスの充電インフラシステムサービス「smart oasis」を用いてEV・PHV利用者に発信するもので、自治体向けにシステムサービスの利用を無償で提供します。「smart oasis」を利用した充電スタンド情報の発信は、すでに全国11の府県が利用していますが、このたびのサービス開始にあたり、地図上のアイコンによって、満空情報などリアルタイムの充電スタンド状態を識別できる機能の追加など、システム機能の拡充と「smart oasis webサイト」の刷新を行っています。自治体は、管理者自らが、「smart oasis webサイト」上で充電スタンド情報の登録・更新が実施できます。登録した情報を「smart oasis webサイト」だけではなく、自治体や地域の観光団体などのホームページから提供することができます。さらに、「smart oasis」の他社システム連携機能を通じて、EV・PHV利用者へ、カーナビやスマートフォンから登録情報を提供することも可能です。また、「smart oasis」と通信ネットワークで接続された充電スタンドについては、充電サービスの利用履歴を確認することが可能です。</p>
19	8月28日	<p>JTBコーポレートセールス、日本ユニシス 9月1日より、EVドライブの旅に新サービスを開始！</p>
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	<p>～ 「チャデモチャージ付きおでかけCard」に、全国1,700箇所のレジャー観光施設の割引サービスが追加になり、カード会員の利便性やサービスがさらに向上します ～ 引サービスが追加になり、カード会員の利便性やサービスがさらに向上します JTBコーポレートセールスと日本ユニシスは、提携して発行・運営しているEV充電認証カード「チャデモチャージ付きおでかけCard」、「おでかけCard」をお持ちのEV・PHVユーザー向けに、日本全国約1,700箇所のレジャー観光施設で利用可能な割引サービスを、9月1日より開始いたします。このたび、JTBグループのJTBベネフィッが管理運営する会員制サービス「えらべる倶楽部レジャー」の利用が可能となります。これにより、「チャデモチャージ付きおでかけCard」をお持ちのEV・PHVユーザーは、全国で合計300基以上の充電サービスに加えて、全国のレジャー観光施設にて、割引サービスが利用できることになり、観光用途におけるEV・PHVの利便性やサービスがますます向上します。</p>
20	9月2日	<p>日本気象協会、日本ユニシス クラウドと携帯通信環境で提供する、災害監視カメラサービス「サイカメラZERO™」を販売開始</p>
	社会基盤設計技術力およびアライアンスの強化	<p>～ カメラの設置可能場所が拡大！災害をくまなく監視！もれなく監視！ ～ 日本気象協会と日本ユニシスは、クラウドと携帯通信環境で提供する災害監視カメラサービス「サイカメラZERO」の販売を、9月から開始します。本サービスは、河川やアンダーパス(注1)などにカメラを設置し、定期的に観測状況を取得し、災害を監視するものです。観測状況の画像は、携帯通信網(3G回線およびWiMAX回線)を介して、データセンターに送信されるため、監視センターなどで管理できる仕組みです。さらに、水位計や雨量計などの計測器と連携すれば、設定された閾値を元にした災害予見が可能となります。本サービスは、日本ユニシスのドライブレコーダーを活用したサービス(無事故プログラムDR)の技術を元に開発しているため、サービス費用を最大限低減化したサービスです。また、日本気象協会は、オンライン気象情報提供サービス「MICOS Fit(マイコスフィット)」を自治体や社会インフラ基盤を担う企業などへ提供しています。「MICOS Fit」上で、カメラ映像と気象予測情報を併せて提供することにより、現状監視および体制判断において、従来以上に効果的なサービスを提供することができます。</p>

発表日		内 容
21	9月5日	<p>日本ユニシス、ネットマークス 国内金融機関で初めて、百五銀行と海外進出支援に関する業務提携契約を締結</p> <p>～ 百五銀行の取引先企業のアジア拠点立ち上げに必要なICTインフラをワンストップで提供し、地域企業のアジア進出を支援 ～</p> <p>日本ユニシスとネットマークスは、百五銀行と、海外進出企業向けのICT支援サービスに関する業務提携契約を締結しました。ICTサービス企業と金融機関が、海外進出企業向け支援サービスに関する業務提携契約を締結するのは、国内の金融機関で初となります。百五銀行が、海外進出する取引先企業を日本ユニシスを通じてネットマークスへ紹介し、ネットマークスの海外拠点と取引先企業の海外拠点が成約に至った場合に、百五銀行へ手数料を支払うスキームです。日本ユニシスとネットマークスは、百五銀行の取引先企業のアジア拠点の新規立上げに必要なICTインフラをワンストップで提供し、地域企業のアジア進出を支援します。百五銀行は、今回の業務提携契約により、従来に無いソリューション・価値を取引先企業へ紹介することで、時代の流れに応じた幅広いニーズに応えることが可能となります。日本ユニシスは、既に百五銀行と契約締結しているICTソリューション分野におけるビジネスマッチングに加え、ネットマークスの海外進出企業向けICT支援サービスを提供することにより、百五銀行の取引先企業の本業をサポートし、地域経済の活性化を支援します。</p>
		<p>お客様の海外進出支援強化</p> <p>共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化</p>
22	9月10日	<p>日本ユニシス 西武信用金庫と業務提携契約を締結</p> <p>～ 域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みを推進。地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援 ～</p> <p>日本ユニシスは、地域金融機関の有償ビジネスマッチングのスキームを活用してICTソリューションの販売を促進する新たな取り組みを進めていますが、このたび信用金庫とは初めて西武信用金庫と業務提携契約を締結しました。西武信用金庫が日本ユニシスの取り扱うICTソリューションを取引先企業へ紹介し、日本ユニシスと取引先企業が成約に至った場合にビジネスマッチング手数料を支払うスキームです。日本ユニシスがさまざまな産業分野で培ったICTの豊富なノウハウと、地域金融機関の地域における信用力や目利き力を組み合わせることで、取引先企業の本業をサポートし、地域経済の活性化を支援します。今回の西武信用金庫との業務提携は、百五銀行、鹿児島銀行との業務提携に続く第二弾となります。西武信用金庫は、今回の業務提携契約により、従来に無いソリューション・価値を取引先企業へ紹介することで、時代の流れに応じた幅広いニーズに応えることが可能となります。また、地域に密着した「お客さま支援センター」としてのサービス品質向上を行い、地域社会への貢献を実現します。</p>
		<p>共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化</p> <p>サービス連鎖の強化</p>
23	9月13日	<p>日本ユニシス・エクセリションズ 3次元統合CAD/CAMシステム「CADmeister®」の新バージョン V8.0を提供開始</p> <p>～ お客さまの声を反映し、「習得の速さ」「ストレスの軽減」「手戻りの削減」を目指して操作性を向上 ～</p> <p>日本ユニシス・エクセリションズは、3次元統合CAD/CAMシステム「CADmeister (キャドマイスター)」の新バージョン V8.0を2013年9月下旬から提供開始します。「CADmeister」は2005年7月に「CADmeister V1.0」として提供開始以来、国産唯一の3次元統合CAD/CAMシステムとして金型メーカーを中心に累計で30,000シート以上採用されています。進化するIT技術を有効活用しつつ、お客さまの業務に直結する機能をお客さまの声を元に開発することを基本コンセプトとしています。今回リリースするV8.0では初心者でも思い通りの形状作成ができるように面や立体を生成する機能を統合し、コマンド入力画面を刷新しています。コマンド入力のレスポンスも約2倍向上しスピーディな操作を実現しました。また、コマンド実行前のプレビュー機能で結果を予め確認できるように改善しました。これらは「習得の速さ」「ストレスの軽減」「手戻りの削減」を目指した機能改善の一部で、今後も継続した改善を予定しています。</p>
		<p>ソリューションサービスの強化</p>
24	10月3日	<p>日本ユニシス ビッグデータのための分析データベースプラットフォーム「HP Vertica Analytics Platform」を提供開始</p> <p>～ 情報系構築支援ソリューション「MartSolution®」との組み合わせにより、コストパフォーマンスの高いDWHシステムを提供可能に ～</p> <p>日本ユニシスは、日本ヒューレット・パッカートのビッグデータ分析データベースプラットフォーム「HP Vertica Analytics Platform」(HP Vertica)を本日から提供開始します。日本ユニシスでは、ビッグデータ分析における「HP Vertica」の活用を支援するため、Hadoop/Vertica連携メソッドロジーを提供します。これは、Hadoopに蓄積されたビッグデータを、「HP Vertica」基盤に取り込む仕組みです。例えば、大量のソーシャルデータはSQL文では扱いにくいため、Hadoop MapReduceを使ってSQL文で扱い易い表形式のデータに成形します。そのデータを「HP Vertica HDFS Connector」を使用して「HP Vertica」にロードし、高速に分析することが可能になります。今後も、このようなビッグデータを活用するためのメソッドロジーを、順次提供していく予定です。さらに、日本ユニシスの情報系構築支援ソリューション「MartSolution」をBI (Business Intelligence) ツールとして使用することにより、従来のBI/DWHシステムに比べてコストパフォーマンスの高いDWHシステムを導入することが可能になります。</p>
		<p>インフラサービスの強化</p>
25	10月8日	<p>日本ユニシスグループ 日経BP社「第7回クラウドランキング」において、3部門5サービスが「ベストサービス」に選出</p> <p>日本ユニシスとユニアデックスの日本ユニシスグループは、日経BP社のIT系 総合メディアである「日経コンピュータ」と「ITpro」が共同で実施する「第7回クラウドランキング」において、本日、3部門5サービスが「ベストサービス」に選出されました。なお、「ベストサービス」選出は、「第2回クラウドランキング」から、今回で6回連続となります。今回、「ベストサービス」に選出されたサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ★クラウド基盤サービス(IaaS/PaaS)部門 「U-Cloud® IaaS (ICTホスティングサービス)」(日本ユニシスグループ) ★汎用情報系SaaS部門 「iSECURE® eラーニングセキュリティ教育サービス」/「LearningCast® update9」(日本ユニシス) ★特定業種業務向けSaaS部門 「TRADEBASE® for FX」/「学校向け授業管理システムRENANDI®」(日本ユニシス)

発表日		内 容
26	10月8日	大日本印刷と日本ユニシス 商品情報を一元管理するPIMシステム「PRO-V(プロ・ファイブ)」のクラウド型サービスを販売開始
	DNP連携	～ 多言語のWebコンテンツが管理できる「SDL Tridion」とも連携し、スピーディなグローバル展開を実現 ～ 大日本印刷(DNP)と日本ユニシスは、日本ユニシスのクラウドコンピューティングサービス「U-Cloud®」を活用して、DNPからPIM(Product Information Management:商品情報管理)システム「PRO-V」のクラウド型サービスを10月8日から販売開始します。この「PRO-V」と日本ユニシスが提供するウェブサイトの多言語コンテンツ管理サービス「SDL Tridion」との連携により、グローバル展開しているウェブサイトの運用負荷の軽減はもとより、短期間でより多くの言語バリエーションによる情報配信がスピーディに行え、商品情報の質・量・タイミングの最適化を実現します。DNPと日本ユニシスは、2012年8月に締結した業務提携契約に基づき、「異業種連携」による新規事業拡大を実現する事業基盤を強化するため、「マーケティング・販売連携」、「サービス事業基盤の強化」、「マーケティングプラットフォームの共同開発・展開」、「グローバル展開」の4つの領域での取り組みを進めています。今回の発表内容は、「マーケティング・販売連携」の取り組みのひとつで、両社のお客さまへの提案力強化を目的としたものです。
27	10月8日	ユニアデックス 米国Big Switch Networks社と、販売代理店契約を締結
	インフラサービスの強化	～ ソフトウェアでネットワーク機能を制御し、一元管理も可能となるOpen SDNソリューションを販売開始 ～ ユニアデックスは、米国Big Switch Networks, Inc.と販売代理店契約を締結し、同社のOpen SDN(Software Defined Networking)ソリューションを本日から販売開始します。米国Big Switch Networks社のOpen SDNソリューションは、従来のIPネットワーク製品では実現が難しかったネットワークの一元管理が容易に行えるようになります。これにより、クラウド管理ツールと連携してシステム運用の自動化に貢献します。加えて、利用者の役割に応じてネットワークアクセス可能な範囲を変更するなど、従来のネットワーク製品に比べ、高機能なネットワークシステムを構築することができます。
28	10月9日	日本ユニシス 音波を利用した「位置情報連動型O2Oサービス」の実証実験 第二弾を実施
	共創ビジネス／BPOモデル企画力の強化	～ 音波チェックインを使った、位置情報連動型ソリューションの提供へ向けた取り組み ～ 日本ユニシスは、音波を利用したO2Oサービスの実証実験第二弾を実施します。音波を利用したO2Oサービスとは、音波通信による位置情報連動型サービスで、音波ID発信装置から出る音波信号をスマートフォン・アプリケーションがマイクで受信してチェックインが行われ、受信した音波IDに対応する情報を配信する仕組みです。利用者は音波ID発信装置に近づいただけで、最新情報やポイント、クーポンの入手、Webサイトへのアクセスなどのサービスが利用できます。日本ユニシスは、2013年6月に開催した日本ユニシスグループの総合イベント「BITS 2013」での音波を利用したBtoB向けO2Oサービスの実証実験に続き、このたび、2013年10月9日～11日に開催される「ITpro EXPO 2013」において、日本ユニシスグループ各社、ならびにパートナー企業である日本ヒューレット・パッカード株式会社、ウイングアーク株式会社の出展ブースに音波スポット(音波ID発信装置を設置した場所)を配置し、各ブースを訪れたお客さまに、音波を利用したO2Oサービスを体験いただく実証実験を実施します。
29	10月9日	日本ユニシス テキスト分析ソリューション「TopicExplorer®」「TopicStation®」のソーシャルメディア対応を強化し、「ソーシャルメディア連携サービス」の販売開始
	ソリューションサービスの強化	～ Twitter／ブログ・掲示板との自動連携を可能とし、企業のソーシャルメディア分析ニーズに対応 ～ 日本ユニシスは、企業におけるソーシャルメディア分析ニーズに対応して、テキスト分析ツール「TopicExplorer」と情報共有ポータル「TopicStation」のソーシャルメディア対応を強化し、「ソーシャルメディア連携サービス(オプション)」の販売を本日から開始します。「TopicExplorer」「TopicStation」では、従来からTwitterデータ(米Twitter社の公開APIの範囲内)およびFacebookデータの検索・収集・分析が可能な機能を提供していましたが、その他のソーシャルメディア情報については、お客さまが個別に要件を検討し、システム開発を行う必要がありました。このたび、日本ユニシスは、企業におけるさらに高度で詳細なソーシャルメディア分析を支援するため、Twitterデータ(日本語および国内で書き込まれたすべてのTwitterデータ)とブログ・掲示板データの分析を可能とするサービスを開発しました。本サービスにより、「TopicExplorer」「TopicStation」導入企業では、Twitter、ブログ・掲示板を対象とした分析を行いたい場合に、本サービスを通して手間をかけることなくデータを検索・収集し、以下のような高度な分析を迅速に開始することができるようになります。
30	10月10日	日本ユニシス エンタープライズサーバー「Unisys ClearPath® Server」2機種を販売開始 大型機CS6200Lシリーズと中型機CS4200Lシリーズを提供
	インフラサービスの強化	日本ユニシスは、米国ユニシスのエンタープライズサーバー大型機「CS6200Lシリーズ」と中型機「CS4200Lシリーズ」を本日から販売開始します。「CS6200Lシリーズ」は、MCP環境で稼働する大型機「CS750Lシリーズ」の後継機に位置付けられる機種で、インテル® Xeon®オクタル(8)コア・プロセッサを搭載、処理性能は前機種「CS750Lシリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約10%向上しています。「CS4200Lシリーズ」は、MCP環境で稼働する中型機「CS4100Lシリーズ」の後継機に位置付けられる機種で、インテル Xeonオクタル(8)コア・プロセッサを搭載し、処理性能は前機種「CS4100Lシリーズ」と比較して、単一プロセッサ当たりで約16%向上しています。 両シリーズ共に、企業の基幹システムとして活用できる信頼性と可用性を高めたHigh Availability(HA)システムで提供すると共に、既存システムのモダン化を支援する「ClearPath Portal」を両シリーズの基本ハードウェア構成の中に標準搭載しています。また、提供モデルは、お客さまの利用形態で選択できるように、従来型の固定性能モデル(注3)とプロセッサの使用量に応じて課金する従量制モデル(注4)の2形態で提供します。

発表日	内 容
31 10月17日	<p>堀場製作所、日本ユニシス 車両運行管理、テレマティクス分野での協業を開始</p> <p>～ マーケット拡大で相互協力、ビッグデータを利用した新サービスの共同検討に着手 ～</p> <p>堀場製作所と日本ユニシスは、車両運行管理、テレマティクス分野におけるビッグデータの活用に向けた共同のシステム運用を、11月から開始します。日本ユニシスが提供するドライブレコーダーを活用したクラウドサービス「無事故プログラムDR®」のアーキテクチャーやネットワーク基盤を活用し、新しい運行管理システムを構築します。堀場製作所は、日本ユニシスとの協業により、車両に搭載したデジタルタコグラフやドライブレコーダーから無線を使って、リアルタイムに運行情報をデータセンターに収集する新運行管理システム「HORIBA FLEET LINKAGE (ホリバ フリート リンケージ)」を11月から運用を開始します。本システムは、急ブレーキ時の映像や燃費、車両の動態などを管理する既存システムの機能を生かし、新たに危険運転時には瞬時にメール通知ができるクラウドサービスとして提供します。堀場製作所と日本ユニシスは、今後ビッグデータを活用することで新機能の拡張や事業拡大に備えた強力で柔軟な基盤を構築していきます。たとえば、蓄積される運行データを解析することで、低燃費ルート・安全ルート・最早ルートの案内を提供するなど、効率的な物流システムや安全運転につながるシミュレーション機能の開発を目指します。堀場製作所は、運送業や営業車両など、日常的に業務で車両を運転するプロ向けの運行管理システムの提案力の強化をしており、「HORIBA FLEET LINKAGE」の展開により、さらなる競争力の強化をはかります。日本ユニシスは、踏切監視や自然災害監視などの用途に、「無事故プログラムDR」の技術を応用していますが、今回の協業により、さらに範囲を拡大していきます。</p>
32 10月18日	<p>日本ユニシス 地域金融機関のビジネスマッチングスキームを活用して販売促進する新たな取り組みの強化に向け、ICTソリューションのラインアップを拡大</p> <p>～ 地域医療連携や高齢者世帯の見守り、災害時の情報管理などラインアップを拡充。地域金融機関と提携して金融機関の取引先企業や地方自治体へICTソリューションを提供し、地域経済の活性化を支援 ～</p> <p>日本ユニシスは、地域金融機関の有償ビジネスマッチングのスキームを活用してICTソリューションの販売を促進する新たな取り組みを進めていますが、このたび取り扱うICTソリューションのラインアップを10種に拡大します。この取り組みは、地域金融機関が日本ユニシスの取り扱うICTソリューションを取引先企業へ紹介し、日本ユニシスと取引先企業が成約に至った場合に、日本ユニシスから地域金融機関へビジネスマッチング手数料を支払うスキームです。日本ユニシスがさまざまな産業分野で培ったICTの豊富なノウハウと、地域金融機関の地域における信用力や目利き力を組み合わせることで、取引先企業の本業をサポートし、地域経済の活性化を支援しています。今回、地域医療連携や高齢者世帯の見守り、災害時の情報管理など、地域企業や地方自治体の課題解決を支援するICTソリューションをさらに拡充することで、取り組みの強化を図ります。</p>
33 10月22日	<p>日本ユニシス 名神高速道路などNEXCO西日本管内の「電気自動車用急速充電設備」に充電インフラシステムサービス「smart oasis®」を提供</p> <p>日本ユニシスは、西日本高速道路株式会社(NEXCO西日本)が名神高速道路などのサービスエリア(SA)、パーキングエリア(PA)に整備する「電気自動車用急速充電設備」において、ミライトが実施する利用環境調査に、充電インフラシステムサービス「smart oasis」を提供します。このたび、吹田SA(上下線)、草津PA(上下線)、桂川PA(上下線)、山陽自動車道の三木SA(上下線)、福石PA(上下線)、吉備SA(上下線)、岡山自動車道の高梁SA(上下線)、米子自動車道の蒜山高原SA(上下線)、大山PA(上り線)、高知自動車道の馬立PA、立川PA、九州自動車道の宮原SA(上下線)、大分自動車道の山田SA(上下線)の22基が増設され、平成25年7月10日より段階的にサービスを開始し、平成25年10月4日に全設備がサービス開始しております。これにより、すでに整備済みであった沖縄自動車道の6基、今回設備を入れ替えた名神高速道路の吹田SA(上り線)と合わせてNEXCO西日本管内の「電気自動車用急速充電設備」は計29基にまで拡充されました。</p> <p>日本ユニシスは、沖縄自動車道の6基を除く、今回、整備された23基の「電気自動車用急速充電設備」に「smart oasis」を提供し、充電器の利用データの収集・管理、カーナビやWebサイトへ満空情報を配信する情報サービスなどを提供しています。</p>
34 10月29日	<p>大日本印刷、日本ユニシス、図書館流通センター、丸善 クラウド型電子図書館サービスを刷新、図書館と生活者の利便性向上へ</p> <p>大日本印刷(DNP)、日本ユニシス、図書館流通センター(TRC)、丸善の4社は共同で、図書館向けにクラウド型で提供する新たな電子図書館サービスを2014年4月に開始します。</p> <p>DNPは電子図書館サービス全体の企画・設計を行ない、日本ユニシスはシステムの設計・開発・クラウド環境提供を担当します。また、DNPグループの株式会社モバイルブック・ジャーピーが図書館向け電子書籍コンテンツの調達を行い、TRCが公共図書館向け、丸善が大学図書館向けに本サービスの販売を担当します。DNPグループと日本ユニシスはそれぞれ2010年度にサービス開始して以来、公共図書館を中心に累計20館以上の実績を通じて電子書籍という新しい読書スタイルの浸透を試みてきました。特に2011年度からは札幌市中央図書館との実証実験を共同で進め、そこで得られた成果や既に導入している図書館からの要望などを新たな仕組みの刷新に繋げています。両社は2012年度より共同で現在の電子図書館サービスの提供を開始していますが、今回、生活者、図書館および出版社にとって、より利便性が高い電子図書館サービスへのリニューアルを共同で行うこととしました。本サービスは、公共図書館や大学図書館に、電子図書館の構築・運営に必要なシステムや利用可能な電子書籍などをクラウド型で提供するものです。導入時にサーバやシステムを新たに購入、構築することなく、短期間、低価格でのスタートが可能です。また、電子書籍に関しては、「文芸」、「ビジネス」、「言語学習」、「専門書」等の分野を中心に1万タイトル以上が既に提供可能であり、今後もラインナップの充実に向けていきます。</p>

U&U

Users & Unisys

UNISYS

※U-Cloud, smart oasis, Next U's Vision, smartaxi/スマートタクシー、無事故プログラムDR, UNIBEMS/ユニベムス、SAVEaid/セーブエイド、LoMeS、めっちゃかわ！、Me-se/ミーゼ、CoreCenter, Lease Vision, LeaseCreation, eBuyerBrains, eProT, eSupplierStation, Maris, MIDMOST, AtlasBase, サイカメラZERO, LearningCast/ラーニングキャスト、iSECURE, TRADEBASE, RENANDI, Dynavista, CADCEUS, TopicExplorer, TopicStation, MartSolution, MiningPro21, Sustainable Customer Value/サステイナブル・カスタマーバリュー、BITS, U&Uは、日本ユニシス株式会社の登録商標または商標です。

※サイカメラZEROは、日本ユニシス株式会社が提供するサービスの名称です。

※CADmeisterは、日本ユニシス・エクセリュションズ株式会社の登録商標です。

※ALEXCIOUSは、アレックス株式会社の登録商標です。

※絆-ONEは、M2Mテクノロジーズ株式会社の商標です。

※Androidは、Google Inc.の登録商標です。

※COMPANYは、株式会社ワークスアプリケーションズの登録商標です。

※HORIBA FLEET LINKAGEは、株式会社堀場製作所の商標または登録商標です。

※Microsoft, Windows, Kinect, SQL Serverは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。

※Teradataは、米国テラデータ・コーポレーションの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※ZL Technologies, Unified Archiveは、米国ZL Technologies, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

※Chameleon Codeは株式会社シフトの製品であり、株式会社シフトの登録商標です。

※ClearPathは、Unisys Corporationの登録商標です。

※MICOSは、一般財団法人 日本気象協会の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。